

東急大井町線で尾山台駅（東京都世田谷区）まで来た。ここはナカステキな街で駅前に丸長という実に素晴らしい定食屋があったりと良い店に巡り合うことが多いのだが、今回はこの駅を最寄りとする東京都世田谷キャンパスに行かねばならないのだ。そのため丸長で食べるのは我慢して、商店街を抜けて、十数分歩いて左折すると、なんだか急に大学生がたくさんいる。ここだ。東京都立大学。かつての武蔵工業大学。五島育英会が東横学園女子短大と合体させて、総合大学たる東京都立大学となったのが2009年。現在、キャンパスは、工学部、知識工学部などのあるこの世田谷キャンパス、環境学部、メディア情報学部などのある横浜キャンパス、都市生活学部、人間科学部などのある等々力キャンパスと3カ所ある。付属学校では、東京都立大学付属中高（かつての武蔵工業大学付属）、東京都立大学等々力中高（かつての東横学園中高）、東京都立大学塩尻高（かつての武蔵工業大学第二高校）、東京都立大学小（かつての東横学園小）、東京都立大学二子幼稚園（かつての東横学園二子幼稚園）などがあるのだった。

教養に浸りながら
「としだいランチ」と磯辺揚げ

学食 バンザイ!!

◆ 東京都立大学 編 ◆
今 柊二 (定食評論家)

さて、とりあえず某所で用事を済ませると、13時。この時間だと、学生さんの迷惑にもならないかなと思いつき、学食を訪れると、これがまた大変なにぎわいぶり。こりゃパワーのある学食だなと思う。ただ、ピークは越えているようなので、申し訳ないが食べていこう。メニューを見ると、カレーライス290円、スパゲティミートソース250円、かけうどん220円となかなかの安さ。唐揚げ丼350円もあり、これは日替わりで、今日は「焙煎ゴマドレッシング、チキンパッファローソース」らしい。なんだかスゴイですね。その隣には「としだいランチ」が300円であった。今日は、チキンのカレーフリッターだそう。これだな。ただ、これだけだとちょっとさみしいので、何か小鉢をつけよう。小鉢は80円。ということで、決まったので、券売機の列に並んで、食券を買う。どうやら注文によってカウンターが違うようで、まるでフードコートのような。おお、案内をみると、ここの運営はグリーンハウスなんですね。グリーンハウスはとんかつの「さぼてん」も展開する学食の大手ですね（もとは慶應義塾大学から出発している）。

かくしてカウンターに進み、小鉢をどうしようかと思つたら、ゴボウサラダが良さそうだったのでそれにしたいが、小鉢の券でいいのだろうか（サラダは別の券があるのだ）。カウンターでスタッフにチケットを渡すシステムだったので、聞いてみると「小鉢のチケットで大丈夫ですよ」と言ってくれた。さらにカウンターにおいしそうなくわの磯辺揚げがあり、どうしても食べたくなったので、「それも注文していいですか？」と聞くと現金で50円でいいそうだ。エライな、この柔軟さ。

ということ、「としだいランチ」にちくわの磯辺揚げを乗っけてもらう。続いて調味料に行き、サラダドレッシングをかけ、給茶器で冷水とお茶を汲み、お箸を取って席を探す。

全体的な混雑は急速に終わりのついで、席がわりと空いているので、手前のテーブルに座る。端っこの教授らしき人が定食を食べているな。さあ、私も食べるぞ。意外とボリューム。ポーシヨンされたライスにはごま塩が振られていて、鶏の唐揚げ（フリッター）にはカレーがかかり、あとはスパとキャベツだ。ごぼうサラダには、コーン、ワカメ、トマト、キャベツだ。まずは味噌汁代わりにお茶を飲み、チキンからいただく。これは柔らかな揚げ方だ。カレーがかかっているの、なかなかのおかず力。



思いつつ、私はちくわの磯辺揚げをかじったのだった（うまい）。
※東京都立大学の別のキャンパスの学食もとても気になるので、あらためて紹介しましょう。

■この記事・写真等は月刊高校教育（学事出版）の許諾を得て転載しています。無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。